

せとうちちょう 議会だより

第163号

平成28年10月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～決算審査特別委員会審査状況（写真上、右下）～
研修の一環として議会を傍聴する新規採用職員（写真左下）



第3回（9月）定例会では、決算議案11件、補正予算議案10件、条例改正議案1件、契約議案3件、人事議案2件、その他議案3件の計30件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

また、平成27年度各会計決算議案については、決算審査特別委員会（委員長 向野 忍、副委員長 池田啓一）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、意見書（次頁に掲載）を町当局へ提出しました。（各会計決算額状況については町広報誌に掲載のため、割愛しました。）主な議案の要旨は次のとおりです。

損失補償契約

陸上自衛隊奄美駐屯地（仮称）配備に伴い、営業移転することにより生じた損失について、農業生産法人（株）あさばなどの損失補償契約です。

主な補償内容は、営業移転に要する経費及びその移転等に伴い生じる損失に対する補償金として、3千万円及び営業移転用土地として、町有地1081㎡（地目：水道用地）であります。

町有財産の売却

陸上自衛隊奄美駐屯地瀬戸内分屯地（仮称）の用地として節子字犬山684番

地の一部ほか18筆の町有地を防衛省へ売却するものです。売却内容は、土地面積17万3727.62㎡、売買価格2億490万円です。

阿木名小中学校体育館建築工事契約

主な工事内容は、鉄筋コンクリート造2階、総面積692.2㎡を行なうもので、勇・里山特定建設工事共同企業体と3億1320万円です。

フェリーかけろま代替船建造請負変更契約

当初、寿工業株式会社（い

ちき串木野市）と5億5188万円です。契約していましたが、船殻工事、艀装工事、バリアフリーエレベーター、汚物処理器、運航情報モニター等の追加を行なうものです。

変更後の請負金額は、7812万円増の6億3000万円となりました。

教育委員会委員に平島 さより氏

（46歳 古仁屋）

人権擁護委員に高野 洋志氏

（66歳 阿鉄）

一般会計補正予算（第2号）

財政調整基金積立金として2億9230万円

主な内容は、財政調整基金積立金2億9230万円、公共施設維持管理基金積立金1億円、シイタケ栽培損失補償費3000万円、定住促進住宅助成400万円、地域型保育給付負担金413万円などを追加するものです。

また、ミカンコミバエ収束に伴い果実買上料4400万円、焼却施設解体に伴う入札残2034万6千円などを減額するものです。総額3億8279万6千円を追加しました。

決算審査意見(7項目)を町へ提出

1. 町税・使用料等の徴収態勢の強化を図るために、担当課が連携をして一丸となった滞納対策に努められたい。
2. 各特別会計の運営は、独立採算性に基づき、一般会計からの繰入れに委ねることなく、健全な運営に鋭意努められたい。
3. 国立公園指定・世界自然遺産登録に向けて、町民の環境に対する意識の向上及び機運の醸成を図るとともに、本町への拠点施設の設置促進に努力されたい。
4. 廃止路線代替バス等運行費補助金事業において、適正な補助金申請の審査に努められたい。
5. フェリーかけろまの航送料については、町民や観光客が利用しやすい料金設定に努められたい。
6. 景気対策・地域経済の活性化を図るため、更なる公共事業の導入と企業が新たな産業へシフトできるよう情報提供等に特段の努力をされたい。
7. 古仁屋高校の振興対策については、更なる学校の努力と町の支援策の推進を図り町外生徒の受け入れ体制の充実と積極的なPR活動に努められたい。

一般質問

第3回定例会では、7名の議員が町政全般に亘り、質問・提言等を行ない議論を交わしました。一部を要約して紹介いたしますが、記事に関しては、質問議員の責任において掲載していません。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



中村義隆議員

議員 自衛隊基地整備事業について

自衛隊基地の現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺います。

町長 現在、熊本防衛支局発注によるボーリング調査、土木実施設計などの業務が行われております。

また、町道犬山ヨング線の仮設道路工事が10月中旬に着工予定となっております。今後のスケジュールにつきまして、本定例会におきまして不動産売買契約の議決をいただきましたので、防衛省における諸手続き終了後に契約が締結され、10月中に町発注の旧養豚団地解体工事が着工される予定であります。

園指定を目指しています。

議員 登録前の担保となる国立公園化の時期については、いつ頃になるのか。

町長 現在、関係者との最終調整を行っており、調整後は住民の意見を聞くパブリックコメントを1か月間実施する予定となっております。早く、平成29年「春」までに国立公園指定を目標にしているところであります。

議員 安全・安心対策について

古仁屋市街地を流れる仲里川と仲金久川上流の土砂、雑草木の除去はできないでしょうか伺います。

議員 世界自然遺産登録について

私有林との協議状況を伺います。

町長 私有林との協議状況であります。現在、関係者との最終調整を行っており、なるべく早期の国立公

園指定を目指しています。

町長 古仁屋市街地を流れる県管理の2級河川仲里川と仲金久川上流の土砂、雑草木の除去につきましては、

草木の除去につきましては、

限られた予算の中でありませんが、随時伐採等を行なっていく計画と聞いております。また、2級河川仲里川終点（古仁屋小学校裏門）から上流に向けては、町管理の準用河川仲里川であり、建設課で伐採等の対応をしたいと考えております。

議員 健康増進について

公設のグラウンドゴルフ場の整備はできないでしょうか伺います。

町長 現在、清水公園内に適地の選定を行ない、整備に向けて検討中であります。また、財源確保についても、あらゆる補助事業を勘案し、町の負担が最小限となるよう検討しているところであります。今後は、グラウンドゴルフ連盟の代表や、その他のグラウンドゴ

ルフ関係者と協議を進めていく考えております。



澤 佳男議員

議員 「加計呂麻島展示・体験交流館」について

加計呂麻島展示・体験交流館をオープン後、メインであった、映画「男はつらいよ」のトラさんの展示物が撤去されています。いつオープンして、いつ撤去になったのですか。

商工観光課長 平成27年4月にオープンし、7月末に閉鎖しました。

議員 撤去した理由は何ですか。

商工観光課長 松竹との支払いの件について、協議が整わなかったということですので。

議員 オープンしてから契約が成立しなかったというが、オープンしてからそんなことをするのですか。

町長 私が町長になったあと、撤去を決断しました。

松竹から、ポスター使用料3ヶ月分、展示室作成料、展示室建具製作料などで、2400万の提示金額がありました。

そして、著作権料等も毎年かかっていくわけです。「このままトラさんブースをあの施設の中で続けているのか？ 採算がとれるのか？」トラさんブースで人を呼べるのか？」

それらのことを役場内で協議した結果、松竹との関

係を一度清算する必要がある、ということと再度交渉をして、松竹には169万円を支払いました。

将来の、加計呂麻島展示体験交流館を考えていくなかで、著作権料を含めた支払いを続けていくことは、今後の展示体験交流館の経営自体に、また町全体の運営に支障をきたす、という判断のもと、松竹の「男はつらいよ」の展示物は撤去しました。

議員 いま町長が、2千何百万円の請求がきたといわれました。

2千何百万円という、とてもない金額を請求されるおそれがあるのに、それをオープン前にきちんと松竹と詰めていない。

いくら請求されるのかわからないままオープンする。そんな事業があるんですか。

そんなのは最初に計画した段階で、建設に着工する前に、松竹とどういふ契約で運営するのか、決めたらうえてやるのが普通でしょう。

オープンしたあとも、松竹から請求が来るまで、これから毎年支払い続けなければならぬ著作権料がいくらになるのかさえ、わからなかった。

その町政のいい加減さを、私は言っているのです。



元井直志議員

議員 公共事業について

1. 現在の発注状況
2. これからの展開
3. 公共事業に対する町の姿勢

町長 1. 建設課サイドにおける現在の発注状況は、町道の改良舗装事業が5路線、防災・安全事業が1路線、橋梁の補修事業が2橋、

県単急傾斜事業が2地区、林道の改良舗装事業が3路線、林道の県単事業が1地区、住宅の改修事業が2棟で、発注率は70%であります。

2. これからの展開につきましては、平成28年度事業の町道整備にあたって、辺地対策事業から奄振の社会資本整備総合交付金事業への移管により、事業費の増額による早期整備に努めており、今後も新規事業の導入においては、高率補助の採択に向けて努めてまいりたいと考えております。

3. 公共事業に対する町の姿勢については、既存の国庫補助事業や県補助の特定離島ふるさとおこし推進事

業の有効活用と公共事業の予算確保に努め、産業の振興に繋げてまいりたいと考えております。

議員 チーム「せとうち」について

進捗状況とこれからの展開について伺います。

町長 私が、町民に示した

「瀬戸内創生マニフェスト」は、町民や全国の郷友会が望んできた政策であり、これまで長年にわたり実現できなかった困難な仕事であります。町民の真の幸せのため、実現に向け全身全霊で挑戦しており、確実に一歩一歩前進させております。

これからの展開においても、「未来に責任あるまちづくり」として、「瀬戸内創生マニフェスト」の実行に努力して参ります。

議員 瀬戸内町の農業について

1. アボカドの現状とこれからの展開

2. イノシシ対策

3. ミカンコミバエの現状とこれからの対策

町長 1. 現在、アボカド生産部会へ56名の加入申し込みがあり、うち16名が植栽しております。

今後、関係機関との連携により、情報の共有と技術的な課題解決を図り、苗木供給体制及び生産者組織の育成・販売体制の確立を目指すして参ります。

2. 平成23年度より鳥獣被害対策事業によりイノシシの侵入防護柵等を整備しております。今後も本事業を活用しイノシシを主に被害防止対策に努めて参ります。

3. ミカンコミバエにつきましては、平成28年7月14

日付けで植物防疫法に基づく緊急防除が解除となりました。

これからの対策としては、月2回のトラップ調査と年2回の寄生果実調査を実施し、再侵入防止対策に今後も努めて参ります。



渡島芳臣議員

議員 町政について

給食センター建設は6月議会では芦瀬地区でありました。この土地は購入されているのか、清水地区へ変更になった理由、検討委員会のメンバー、検討会は何回開催されたのか伺います。

町長 芦瀬地区の土地は6千万円で購入済みでありま

す。

清水地区への変更は建築基準法により工場として位置づけられる為、給食センターは建てられない事になっていきます。清水地区へ1億2千万円かけて上水道を整備して進めて参ります。

検討委員会のメンバーは副町長を代表に11名で構成しています。検討会は3回開催しました。

議員 防災センターの建設

は以前の文化会館建設を白紙撤回後の説明では防災センターの中に公民館機能を持たせて行き、敷地を嵩上げて進めるとのことでしたが、当初計画のとおり事業は進んでいるのか進捗状況を伺います。

町長 施設名は防災機能を備えた休憩施設兼コミュニティ施設です。敷地の嵩

上げは当初計画どおりの高さで基本設計を進めております。今後は9月末に施設の基本設計図が完成しますので、10月以降の建設検討委員会での承認後、町民及び議会に説明する考えです。

議員 瀬戸内創生マニフェスト34項目の達成状況を伺います。

町長 就任以来、町民、役場職員、郷友会と一体になったチームセとうちを作り上げ、特に瀬戸内創生マニフェストの実行には全力で取り組んでいるところです。私が示しましたマニフェストは、これまで長年にわたる実現できなかった困難な仕事であります。今後においても、マニフェストの実行に努力してまいります。

議員 グラウンドゴルフ場

建設については、前の町政においてトト宝くじ助成金3840万円も決まり、予算も成立していましたが、文化会館建設の白紙撤回と同時にこの事業も白紙になりました。この施設が完成していれば町内外からのグラウンド

ゴルフ愛好者が集まり本町も大きく活気づいたものだと思います。

グラウンドゴルフ場建設の構想は持たれているのか今後の計画をお尋ねします。

町長 清水公園内に適地の選定を行い整備に向けて検討中であります。今後は連盟の代表や関係者と協議をしていく考えでございます。

議員 環境整備について

蘇刈地区の船溜り建設については、長年にわたり要望しておりますが進展がありません。今後の整備計画を伺います。

ません。今後の整備計画を伺います。

町長 今後、集落と再度協議をし、必要性を整理して鹿兒島県と協議を進めたいと思っております。

議員 高丘地区の河川は雑草が生い茂り、景観が悪い状態ですが、この伐採計画を伺



池田啓一議員

議員 農業振興について

町長 「加計呂麻を黒糖生産日本一の島」へ向けての現状と今後の計画を伺います。

町長 さとうきび生産の規

います。

町長 県管理の2級河川で、随時伐採を行っていくと聞いております。

議員 住宅の自転車置き場の整備計画を伺います。

町長 平成28年度は、瀬久井F棟の整備をします。

模拡大のため、現在、公社設立に向けて取り組んでいるところでもあります。

議員 パッションフルーツとマンゴーの今期の収穫量と出荷額をお尋ねします。

町長 平成27年度施設パッションフルーツ生産量31トン、販売額3575万9千円。マンゴー生産量3・7トン、販売額1110万円

となっております。

議員 アボカドについて、今後の施策を伺います。

町長 今後、営農支援センターに実証圃を設置し、栽培技術及び品種特性を調査するとともに苗木供給体制、生産者組織の育成・販売体制の確立を目指してまいります。

議員 路線バスの運行について

ワンコイン(100円)バス運行の実施検証を行なうとの事ですが、進め方と今後の計画について伺います。

町長 100円バス運行の実証実験については、古仁屋く西古見の区間、瀬相く実久の区間で平成28年10月1日く平成29年3月31

日までの6か月間行なうこととしています。実施にあたっては、広報紙やFMせとうち等で周知します。

実験後は、アンケート調査結果等を参考に、全路線における100円均一料金バスの運行について、協議検討していく考えです。

議員 自衛隊配備について

自衛隊配備地である、節子町有地内の旧養豚団地において、施設使用賃貸契約をしている事業所(株)あさばなど問題が生じ、基地建設事業が数か月も遅れているとの事ですが、その内容と経緯を伺います。

町長 補償額にかかる双方の見解や自衛隊配備にかかる基本的な考え方の相違によって生じたのではなく、(株)あさばとしては、

あくまでも補償の相手先は町ではなく、国が責任をもつて、対応すべきであるとの主張を終始展開され、国との交渉の糸口を独自に模索し、努力されてきました

が、最終的には断念せざるを得ない状況となり、町としても計画推進のタイムリミットが迫る中で、最終決断をしなければならぬ事態に陥っていたため、(株)あさばに対して、最終提案を提示して、同意をいただいたところでもあります。

議員 この問題の焦点は何かだと思いますか。

町長 まず、平成26年3月に国(防衛省)に対し、自衛隊配備のための候補地として、節子地区を含めた3か所の提案をしているにも関わらず、翌月の4月1日付けで節子地区における

(株)あさばの施設使用賃貸契約の更新を町が認めている。

次に、平成26年8月12日の自衛隊配備が決定後の平成27年5月27日付けで瀬戸内町長名で(株)あさばに対し、「退去後の経営に支障をきたさない措置の補償をします。」という「確約書」なるものが提出されている。この二点が今回の損失補償に至った大きな要因であると思われる。

議員 国との信頼関係は？

町長 地元の事情により、迷惑をかけた町の責任は、大変大きなものがあると痛感しております。

今後は、国(防衛省)との連携強化を図り、信頼関係の構築に努めて参ります。



岡田弘通議員

議員 高齢者の生きがい対策について

シルバー人材センター設立については、町長の「瀬戸内創生マニフェスト」の公約でもあり、又、長期振興計画にも位置付けしており、28年度の施政方針の総括質疑においても前向きに取り組んでいくことであつたが、現在の取り組みと町長の考えについて伺います。

町長 シルバー人材センター設立につきましては、高齢者の社会参加促進を推進するためにも、シルバー人材センターの設立は、重要な事だと認識しています。

今後につきましては、NPO法人や民間の動向を見ながら検討してまいりたいと考えております。

議員 グラウンドゴルフ場の早期整備に取り組むべきと思うが、教育長の考えを伺います。

教育長 清水公園一帯につきましては、「瀬戸内創生マニフェスト」において、清水地区・文化スポーツ村構想として計画しておりますが、近年のグラウンドゴルフ競技人口の増加や利用ニーズが高まっている状況は十分に認識しており、本町の健康長寿や高齢者の生きがいづくり等の観点から整備が必要であると理解しております。

現在、清水公園内に適地の選定を行ない整備に向けて検討中であります。

議員 農業の振興につ
いて

農業公社設立についての
取り組みについて

農家の指導・育成につ
いては、これまで努力されて
きたが、町が仕事をつくり、
雇用の場を創出すべきと思
うが、町長の考えを伺いま
す。

等は考えられないか伺いま
す。

町長 近隣の市町村及び県

内の市町村の取り組み事例
等を調査し、今後検討して
まいります。

議員 行政運営につ
いて

行政運営（組織・機構・

職員の資質・意識等）を検
証し、住民サービスの向上
を図るため、行政アドバイ
ザー（仮称）等を設置すべ
きと思うが、町長の考えを
伺います。

町長 住民サービスの向上

を図る観点から、職員の意
識改革、資質の向上対策に
ついては、事務改善審議会

において、行政の組織、運
営及び事務の合理化を図る
ことを目的として、町長の
諮問又は職員の提案を審

議・検証し、その審議結果
を町長に答申して行政運営
の合理化を図っていること
であります。

議員が御指摘の行政アド
バイザーの設置につきまして
では、行政外部からの意見
も非常に重要であると考え
ておりますので、今後、検
討させていただきたいと思
います。



向野 忍 議員

議員 陸上自衛隊配備
について

節子旧養豚団地に係る農
業生産法人（株）あさばなど

- ① 損失補償金3000万円
- ② 町有地1081㎡の無償
提供に至った原因、経緯につ

いて伺います。

副町長 第一点目として平

成26年3月には、防衛省に
対し自衛隊配備の候補地と
して、節子地区を含めた3
ヶ所を自ら提案しておきな
がら、平成26年4月1日付
けで節子地区における（株）
あさばなどの賃貸契約の更
新を町が認めたこと。

次に、平成26年8月に自
衛隊配備が決定後の平成27
年5月27日付けで、当時の
町長名で（株）あさばなど
に対し「撤去後の経営に支障
をきたさない措置の補償を
します」という『確約書』な
るものが提出されているこ
と、この二点が今回の補償

金支払いに至った大きな要
因であると考えます。

経緯については、本年の
3月から7月まで延べ11回
交渉を重ねてきたが、（株）
あさばなどとしては「町が関

与すべきではない、補償交
渉や補償金の支払いにつ
いても国が責任を持って対応
すべきである」との主張を
終始展開され、独自に国と
の交渉をされたが最終的に
は断念せざるを得ない状況
に至った。

防衛省から配備計画の遅
れを危惧し「配備計画その
ものの白紙化」との厳しい
見解が示されたため、町と
して総合的に判断をし、
（株）あさばなどに対し補償
に係る町からの最終提案を
提示し同意を頂いた。

議員 補償金3000万円
は町民の血税であり町有地
も町民の財産である。

一連の行政の事務行為は
前町政の町民に対する背任
行為ではないか。責任の追及
と処分はいつするのか。

副町長 第三者による客観

的な判断に委ねるべきと考えます。

町長 町民がどう受け止め、どう判断されるか、町民の考えに委ねたいが、現町政として、これまでの経緯は

経緯として反省しながら今後この様な事がないように対処したい。

今後、自衛隊配備がスムーズにいくよう、町民にあらゆる効果が出るように、これまで以上に国との連携強化に努力していきたい

議員 **子育て支援について**

一時預かり事業について伺います。

町長 9月1日から開所した一時預かり所(ママ・サポ・スマイル)が出来たことで、小さい子を持つ親が、急な用事や短期のパートタ

イム就労のほか、リフレッシュしたい時などに、一時的に預けることが出来ることで、仕事・子育て両面から支援できるものだと考えています。

議員 **医療・介護・福祉の連携・充実について**

与路常駐看護師不在に對する対策について伺います。

町長 巡回診療の行われていない週に、池地診療所の看護師、またはへき地診療所の看護師を与路島に派遣し、島民の健康管理に取り組んでいます。

議員 島民は急患時の対応について不安があります。

女性看護師に限らず男性看護師も歓迎すると言っています。一日も早い看護師常駐を望んでいます。しっかりと応えて頂きたい。

委員会活動

第3回定例会では、文教厚生常任委員会(稲田隆一郎委員長)に付託されていた案件に對しての委員長報告が、池田啓一副委員長よりなされました。(要旨は次のとおりです。)

所管事務調査
『し尿処理施設対策及び臭気対策(火葬場含む)に関する調査』

本町のし尿処理施設対策と火葬場を含めた臭気対策の現状を調査し、町民が住みよい町づくりを図ることを目的として、瀬戸内町、長崎県吉崎市、香川県高松市にて調査を行いました。
◆瀬戸内町
本町が進めているし尿処

理施設対策等の概要については、次のとおりでした。

・本島側のし尿処理施設は、築20年が経過し、1日の処理能力15キロリットルを超える量の処理をしている現状であるので、1日の処理能力23キロリットルで計画している。

スケジュールについては、平成28年度に旧焼却炉施設の解体、実施設計。平成29年度に解体跡地にマテリアル施設(圧縮施設等)建設。

平成30、31年度にし尿処理施設を建設し、平成32年4月供用開始予定である。
・加計呂麻クリーンセンターは、老朽化が進んでいるが、施設の延伸化を図りながら、今後は本島側への統合も検討したい。

・請島、与路島の処理施設は、老朽化が著しいうえ、投入口が詰まった状況のため、両施設ともマンホール

蓋の取り換えを行なうことと与路島の汚泥については、汲みあげて集落で確保した場所へ27年度内に処理する。

・火葬場については、平成27年度に総額約1億2126万円で改修工事を実施し、平成28年4月より新火葬炉2基体制で供用開始しており、火葬中の煙や臭気については解決されたとのことでした。

◆長崎県吉崎市
吉崎市にて、し尿処理対策(離島対策含む)の現状と課題、臭気対策及び汚泥再生処理センター建設に至った経緯等について調査を行ないました。

・現状と課題については、施設の受入貯留設備の配管設備の配管詰りが頻繁に起こることが大きな課題で、メーカーと抜本的な解決方法の話し合いをしている。また、3年間の瑕疵期間

が平成26年度に終了し、27年度から市が管理するようになったが、修繕がメーカーより多々提案されるため修繕費の経費が掛かる。施設の稼働に必要な薬品をメーカーより購入しているが、毎月高額であるため、これも大きな課題である。

・臭気対策については、施工メーカーより提案のあった塩基性ガス脱臭用硫酸と酸性ガス脱臭用次亜塩素酸ソーダーを使用している。

・汚泥再生処理センター（平成24年4月稼働開始…総事業費20億2993万9千円）の建設に至った経緯は、平成16年3月に4町が合併。旧町ごとにあった4施設を使用していたが、老朽化に伴い、効果的・効率的な運営を図るため、施設を一箇所に集約し、リサイクルの推進を図ることを目的に建設したとのことでした。

委員より、離島（大島、長島、原島）へのフェリー航送料助成はこの質疑に対し、委託業者のバキューム車については、フェリー航送料は免除しているとのことでした。



壱岐市にてし尿処理施設を調査する文教厚生委員

◆香川県高松市（女木島、男木島）

請島、与路島と類似した女木島、男木島における現状と課題等について調査を行ないました。

女木島は、高松港の北北東約4キロの海上にあり、105世帯175人が住んでおり、男木島は、高松港の北北東約7・5キロの海

上にあり、119世帯184人が住み、両島とも過疎化の進んだ状況であります。・収集は両島とも年間6回で、業者がフェリーを利用して、し尿収集車等を搬送・収集作業を行ない、収集されたし尿等は、両島においてし尿海上輸送船「第1たかまつ丸」（13トン平成13年4月就航）に積み替えられ、高松港近くの衛生処理センター中継所に輸送してまいりました。



し尿処理施設を調査する文教厚生委員 ～高松市～

・し尿・浄化槽汚泥の運搬方法の見直しについては、「第1たかまつ丸」による海上輸送も、継続が困難となることから、今後は、安定的・効率的な収集・運搬が可能で、脱臭対策や住民サービスの低下を招かないことから、両島に中継貯留槽の整備を予定しているとのことでした。

委員より、両島に設置予定している中継貯留槽の費用は幾らかとの質疑に対し、1基（1島）あたり約2千万円程度であるとのことでした。

以上の調査を踏まえ、次の意見を町当局へ提出しました。

1. 請島・与路島のし尿処理場は、延命策を講じながら、将来に向け整備する方向で検討されたい。
2. 火葬場周辺整備については、早急に実施されたい。

編集後記

◆第16期瀬戸内町議会議員の任期満了（平成24年12月10日～平成28年12月9日）に伴い、私達編集委員も今回号を以て任期が終了となります。

◆開かれた議会の一環として、議会の状況を少しでも皆様にお伝えできればとの思いで議会だよりの編集を心がけてきました。

◆次回以降もご愛読下さいますようよろしくお願い申し上げます。

◆4年間ありがとうございました。（編集委員一同）

議会報編集委員会

委員長	向野 忍
副委員長	池田 啓一
委員	安 和弘
〃	岡田 弘通
〃	稲田 隆一郎
〃	吉見 洋和